

調査研究等に関する実績書

1 主な発掘調査・整理等歴

受験者氏名 栃木野 未来

区分	調査期間	場所・遺跡名(時代)	調査時の所属機関及び職名	主な担当業務	遺跡の特徴
発掘調査 整理	平成20年4月 ～ 平成23年3月	〇〇県〇〇市・〇〇遺跡(奈良・平安)	〇〇県〇〇考古学研究所/ アルバイト	遺構掘り下げ・図面作成・土層注 記	官衙に近接する集落跡 掘立柱建物集中区あり。墨書土 器・瓦等出土
発掘調査 整理	平成23年4月 ～ 平成25年3月	〇〇県〇〇市・〇〇遺跡(奈良・平安)	〇〇県〇〇考古学研究所/ 臨時調査員	遺物実測・トレース	官衙に近接する集落跡 掘立柱建物集中区あり。墨書土 器・瓦等出土
発掘調査 整理	平成25年4月 ～ 平成26年3月	〇〇県〇〇市・〇〇遺跡(縄 文～古墳)	(公財)〇〇〇〇埋蔵文化財 センター/調査員(有期職 員)	現場運営関係書類作成・労務管 理・現場運営・実測・写真撮影	調査面積約0,000㎡。道路拡張調 査。竪穴建物跡00軒の集落跡。 落とし穴多数。古墳1基。
発掘調査 整理	平成26年4月 ～ 平成27年3月	〇〇県〇〇市・〇〇A遺跡 (古墳～奈良・平安)	(公財)〇〇〇〇埋蔵文化財 センター/調査員(有期職 員)	現場運営関係書類作成・労務管 理・現場運営・実測・写真撮影	調査面積約0,000㎡。歩道拡張調 査。竪穴建物跡00軒の集落跡。 鉄製紡錘車出土。
発掘調査 整理	平成28年4月 ～ 平成29年3月	〇〇県〇〇市・〇〇A遺跡 (古墳～奈良・平安)	(公財)〇〇〇〇埋蔵文化財 センター/調査員(有期職 員)	契約事務書類作成・労務管理・実 測・トレース・原稿執筆	調査面積約0,000㎡。歩道拡張調 査。竪穴建物跡00軒の集落跡。 鉄製紡錘車出土。
発掘調査 整理	年 月 ～ 年 月				

※ 用紙が足りない時は複写してください。

報告書・著書・学術論文・資料紹介・
書評等ごとの順に記載。

2 主な報告書等執筆(報告書・学術論文・資料紹介・書評等を含む)

受験者氏名 栢木野未来

執筆年月	題名	内容	発行機関
平成28年 3月	報告書/共著/『〇〇遺跡』〇〇県埋蔵文化財調査報告書第〇集	執筆部分/第2章「歴史的環境 pp.00-00」 共同執筆部分が多い報告書等は内容欄に担当部分を明記。	〇〇県教育委員会/ (公財)〇〇〇〇埋蔵文化財センター
平成29年 3月	報告書/共著/『〇〇遺跡』〇〇県埋蔵文化財調査報告書第〇集	執筆部分/第1章「調査に至る経緯」pp.00-00、第3章「遺構 pp.00-00」、第4章「遺物」pp.00-00、第6章「調査成果」pp.00-00	〇〇県教育委員会/ (公財)〇〇〇〇埋蔵文化財センター
平成25年 3月	学術論文/単著/「古代〇〇〇の研究」-〇〇〇遺跡を例として-『〇〇大学大学院研究紀要12』pp.00-00	〇〇〇遺跡から出土した〇〇〇の出土状況を分析し、周辺地域の類例と検討した結果、本来の使用方法に加え、〇〇の自然現象が多発する地域特性に対応した使用特性が加わる可能性を考察した。	〇〇大学大学院
平成24年 3月	資料紹介/「〇〇遺跡出土の〇〇について」『〇〇大学大学院研究紀要11』pp.00-00	〇〇県〇〇遺跡出土〇〇〇について遺物観察を行い報告し、合わせて周辺地域の類例の集成を行った。	〇〇大学大学院
年 月	報告書等の分類/単著・共著の別/報告書・単書の場合は『報告書名もしくは書名』、他は「題名」と副題、『掲載雑誌もしくは書籍名』、掲載部分の頁の順に記載。		
年 月			
年 月			

※ 分担執筆の場合、受験者の分担項目を抽出して記載。用紙が足りない時は複写してください。